

名備運輸 安全推進決起大会

全員参加で一体感高める

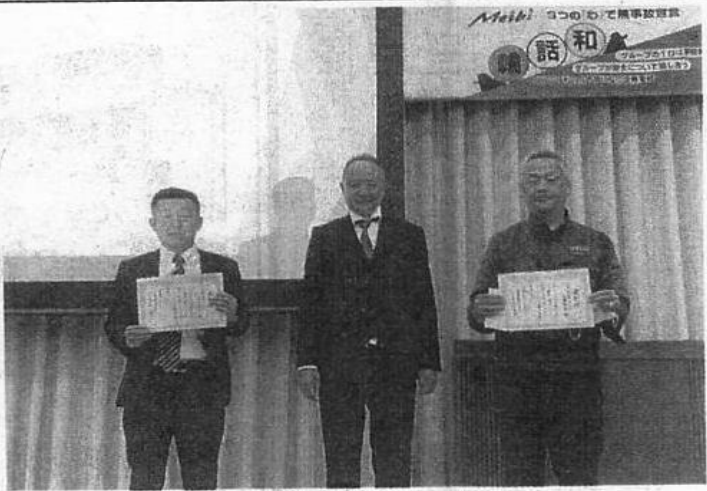
【愛知】名備運輸と行動を」と強調。(丸川靖彦社長、小牧市)はこのほど、ルートイングランティア小牧において第10回安全推進決起大会を開催。全員参加で一体感を高めた。

丸川社長は訓示の中で「アフターコロナの時代を生き抜くには今までの概念を取り払い、変化に気づき、対応する準備

今後求められる人材は知的労働者として、変化への対応に全員で取り組むことの重要性を示した。今年度の安全重点対策として挙げたのは、①リフト操作による荷物事故の撲滅②UFO(うっかり・不注意・横着)による事故撲滅③類似事故の撲滅④時を守る・場を清める・礼を正すこと。全社目標として車両事故3件・荷物事故7件・その他2件という具体的な数字も出した。

昨年年度は総件数で全社目標を初達成し、継続的な大会開催により事故激減という成果をあげている同社。今年度は各項目別での達成を目指すし、マニュアル動画の作成や班活動の

見直しを行うとしている。また、エコを導入することを発案、ドローン事業の展望などについて報告し、LINE W長、安城市)が運営する「人と安全研究所」の渡邊貴幸所長が登壇。道路交通法に関するクイズ形式で出題するなど、工夫を凝らした内容で関心を引き寄せた。(富田 香)



丸川社長(中)と勤続40年表彰を受けた武知智人氏(左)、広瀬幹彦氏(右)